

～～第8752回～～

風越山（木曾）

～R1. 9. 7～

6:00に参加者5名が浜北Pに集合し、車1台で新東名、東海環状道、中央道を経て中津川ICから国道19号線を北上した。上松町に入り舗装された細い林道を登って行った。海拔1000m近く登ると車3台程度駐車できる登山口に到着した。そこは、すでに1台が留まっていた。準備体操の後、ゆっくりと登山道を登り始めた。するとすぐに二又に分かれていた。真直ぐはAコース、右はBコースと表示されていた。Aコースを進んだ。道は真直ぐに上へと延びていた。すごい急登だ。ジグザグに刻んでも良いのではと思いながら、我慢して木立の中を登って行ったが、行けども行けども真直ぐに延びていて、アキレス筋に負担がかかる。かれこれ2時間弱続くとやっと勾配が緩やかになった所がカヤトの丘だった。快晴の空に木はなく背の高い草原が広がり、上松の町並みや、御岳山、恵那山が見て取れる。夏から秋にかけての多くの色とりどりの花が草原を飾っていた。さらに小ピークを越えて緩やかな登りを進むと突然「風越山頂」の標識があった。見渡す限り平坦でありここが頂上かと疑ってしまう。頂上はうっそうと木が茂り、見晴らしは効かないので、頂上から少し下がった風の来る場所で昼食にした。しばらく歓談した後、引き返すことにした。カヤトの丘を過ぎたあたりでBコースの分岐あり、そちらを進むことにした。BコースはAコースより距離は長いが勾配は緩やかで安全だ。鳥のさえずりを聞きながら、ゆっくりと降りて行った。長い緩やかな道を行くとAコースとの分岐に戻った。そしてすぐ登山口が見えてきた。あまりポピュラーな山ではない為、途中で会った人は一組だけの静かな山旅であった。帰りは炭酸の温泉で汗を流し、帰路に着いた。

参加者：5名

天気：晴れ

地図：上松

コースタイム：浜北P600＝上松町＝登山口 1000…Aコース…カヤトの丘 1150…山頂 1225-1300…カヤトの丘 1320…Bコース…登山口 1450＝二本木の湯＝浜北P2100

記録：浜松支部 M. O